

今、動かなければ、県政は変わらない

三野の決意 子や孫が希望を持てる県政に。

「三野やすひろ」は、8月末に予定される県議会補欠選挙への立候補を出発点に、県庁生活 25 年の経験を生かし、政治家として県政に参画しようと決意しました。

そのきっかけは、あまりにも無責任な県の財政運営に危機感を持ったからです。あれもやります、これもやりますとした県政運営の中で、県の借金は 7,500 億円にもなりました。財政体力の 3 倍、県民一人当たり 74 万円の借金です。箱物施設や大規模公共事業を優先する一方で、医療・福祉を切捨て、県民負担が大きく増え、生活は苦しくなっています。

しかし、安心してらせる地域を創るためにやらなければならないことは山積みです。私は、県と市がもっと連携し、県民ホールと市民会館を併設するような無駄を省くことから、財政再建を目指します。そして、地域でくらす皆様の声を大切に、生活優先の事業執行を着実に進めます。

毎日のくらしの中に、生きた政治のヒントがあります。ぜひ、皆様のご指導・ご支援により、「三野やすひろ」を身近な政治家として育てていただきたいと思います。



三野やすひろ

大赤字の香川県は今ひん死の状態。
財政・地方分権に詳しい議員が
今の香川には絶対に必要です。

【プロフィール】

昭和31年に塩江町で生まれる。香川大学経済学部を卒業後昭和55年香川県庁入庁。総務・土木・経済労働・環境保健・生活環境・政策部に25年勤め平成17年に退職。社会保険労務士・行政書士の資格を持ち、財政分析・地方分権論はもとより医療・年金制度、許認可制度にも詳しい。

県財政を立て直す

三野やすひろは具体的に提言



地域を守る

浸水対策 高潮対策 被災者対策

- すり鉢谷川の河川改修などの地域の浸水対策
- 一昨年の台風被害を教訓にした地域の高潮対策
- お年寄りや子どもの避難誘導體制の整備
- 被災者に対する支援制度の拡充などに全力で取り組みます。



すり鉢谷川

高層ビルの規制 快適な生活空間造り 「里山」保全



中野町緑道

- 栗林公園から望む景観保全、日照権などの生活環境を守るための法的規制の強化
- 大規模公共事業の優先でなく歩道のバリアフリー化、側溝の整備など、地域生活に密着した事業推進
- 紫雲山・峰山など市民ハイキングが生まれた土地柄を大切に、森林を地域の共通資本と位置づけ、保全林協定の仕組みや環境林整備などの緑の公共事業推進などに全力で取り組みます。



いのちを守る

地域医療の確保 少子化対策 高齢化対策

- 地域の中核となる医療施設の確保
- 高度医療や特殊医療・救急医療が提供できるような医療施設の物的・人的能力の確保
- 子育てに関する相談窓口としてのこども女性相談センターの機能充実、保育所や幼稚園との連携強化による児童虐待防止
- 一人暮らしのお年寄りが増えている現状を見据えた自治会や地域共同体（コミュニティー）が組織として支え合える制度の充実などに全力で取り組みます。



地域を元気に

農業・漁業 中小企業を育成 財政再建

- 学校給食や様々な食料品産業に安心・安全の地産を推進する制度確立による香川型の農業や漁業の活性化



- 公共事業の発注においての地場中小企業を優先する施策の実現
- 県と市町の連携強化による無駄な施設の乱立回避、公共事業の優先順位付けによる財政健全化などに全力で取り組みます。



日頃より、皆さんのところに足を運んでいろいろな話を伺わせてもらっています。より良い県政にするためには、多くの方々の話を聞き、政策に反映させることが大事です。もっと様々な政策を具体的に提案できるよう、地域のみなさんに学ばせていただきます。



実現のために行動します

三野さんに期待!

「三野やすひろ」君に期待します!

私たちの住む「亀阜」校区は、市内中心部に位置しながら、峰山などの美しい自然に育まれています。この、すばらしい環境を守り育て、子や孫に引き継いでいかなければなりません。しかし、少子高齢化時代の中で、地域の学校の統廃合問題や県立病院と市民病院のあり方などが検討され、長年の懸案である浸水対策なども、課題として残されています。

そんな中、「三野やすひろ」君が県政の場で政治家を志そうとしていることを知り、同じ地域で暮らす一人として応援しなければと地元後援会の会長を引き受けることとなりました。「三野やすひろ」君は、何事にも前向きな性格であり、豊かな行政経験もあります。そして、何よりも地域のことをよく知っており、きめ細かい政策にも取り組んでいただけることと確信します。

ぜひ、皆様のあたたかいご指導・ご支援をいただき、後援会組織を広げるために力を貸していただくことをお願いし、ごあいさつとします。



亀阜校区後援会会長
栗山安延

強権的な政治を地方から変えてほしい!

この4年間の小泉政治を振り返れば、「税金や医療負担が大きく増やされ」「年金支給が年々減らされ」「子どもやお年寄りを狙った凶悪事件が続発し」「年間3万人を超える人が自殺する。」そして、平和憲法までが脅かされている現状に対し、どうなっているのかと思います。私たち庶民にとって、何にも良かったことはありません。

さて、県・市議会議員の出身地域を見ると、郡部の人が多く、都市部出身者は人口の割に少ないのが現状です。都市、農村、漁村地域には、それぞれ違った機能があり、「行政のまちづくり」にも地域の実情を反映した政策づくりが必要で、それを実現できる議員を選出しなければなりません。

「三野やすひろ」君は農村に生まれ、少年期を農村と都市双方で育った経歴の持ち主ですし、25年間香川県庁に勤務し、行政の実態は知り尽くしています。8月の補欠選挙、来年の統一選挙で勝利し、庶民の痛みが分かる政治家に成長することを願っております。



二番丁校区後援会会長
吉田 治

「三野やすひろ」県民相談室 を開設しました!

住所 高松市中野町34-6
TEL 837-3655
FAX 837-3100

地域での課題や取り組みをお知らせし、地域の皆様のご意見をいただくために、地元後援会への加入をお願いします。



元衆議院議員
元県議会議員
三野優美
よしみ

ご無沙汰しております。
今回、息子(康祐)が、「政治の世界」を目指すこととなりました。子供の頃から私の政治生活を見ており、その厳しさは十分知っております。皆様方のご指導をいただき一人前に育てていただけますようお願いいたします。

社会新報
号外

発行所
社会民主党全国連合機関紙宣伝局
週刊(水曜日発行)
〒100-8909東京都千代田区永田町1-8-1
電話03(3892)7515 振替00140-1-3203
●定価180円 ●1カ月700円 ●送料160円